

## 東海地方の天候（令和5年9月）

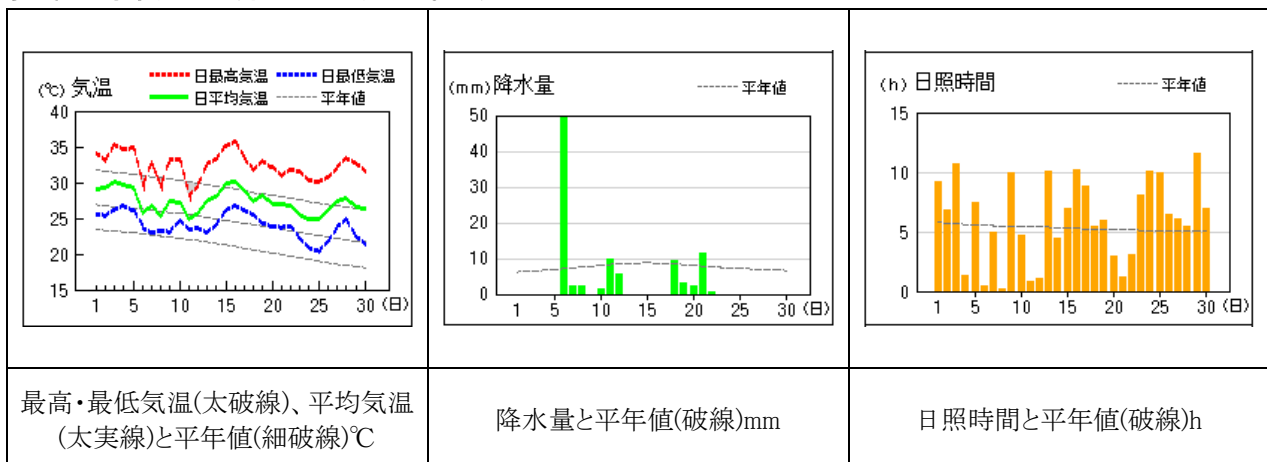
### 1 概況

高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、台風や前線及び湿った空気の影響により曇りや雨の日もあり、大雨や大荒れの天気となった所がありました。晴れた日が多く、暖かい空気に覆われたため、月平均気温はかなり高く、月降水量は少なく、月間日照時間は多くなりました。なお、月平均気温は、平年差が+2.6℃となって1946年の統計開始以降、第1位の記録的な高温となりました。また、東海地方のすべての気象台・特別地域気象観測所で月平均気温の高い方からの第1位を更新しました。

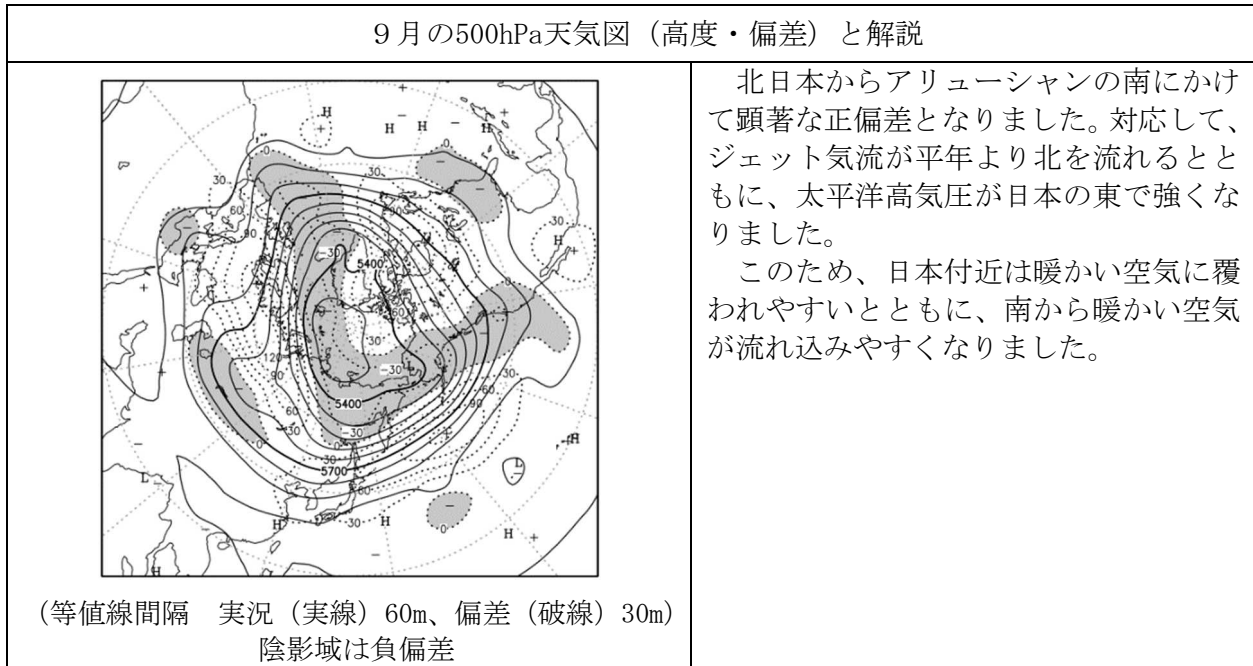
月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「多い」となりました。

旬ごとの概況	
上旬	旬のはじめは高気圧に覆われて晴れましたが、中頃からは前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。また、熱帯低気圧や台風第13号が東海地方に接近し、大雨や大荒れの天気となった所がありました。旬平均気温は、暖かい空気に覆われやすかったため高くなりました。 旬の平均気温は「高い」、降水量は「平年並」、日照時間は「平年並」となりました。
中旬	高気圧に覆われて晴れた日が多く、暖かい空気に覆われたため、旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間は多くなりました。なお、旬平均気温は、平年差が+3.2℃となって1946年の統計開始以降、9月中旬として第1位の高温となりました。また、前線や湿った空気の影響により大雨となった所がありました。広範囲の雨とはならなかったため、旬降水量は少なくなりました。 旬の平均気温は「かなり高い」、降水量は「少ない」、日照時間は「多い」となりました。
下旬	旬のはじめは低気圧や前線の影響を受けて雨が降り、大雨となった所がありました。それ以降は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、旬降水量は少なく、旬間日照時間は多くなりました。また、旬平均気温は、暖かい空気に覆われたため、かなり高く、平年差が+3.3℃となって1946年の統計開始以降、9月下旬として第1位の高温となりました。 旬の平均気温は「かなり高い」、降水量は「少ない」、日照時間は「多い」となりました。

### 参考 時系列図（名古屋地方気象台）



## 2 大気の流れの特徴



## 3 各地の気象台・特別地域気象観測所の実況

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
静岡	27.2	(+2.7)	+*	103.5	(37)	-*	10	200.1	(127)	+*
浜松	26.9	(+2.0)	+*	149.5	(61)	-	13	201.5	(121)	+
御前崎	26.8	(+2.4)	+*	183.5	(77)	○	12	212.2	(122)	+
三島	26.8	(+2.8)	+*	169.0	(70)	○	9	176.8	(117)	+
石廊崎	26.3	(+2.4)	+*	226.5	(122)	○	14	207.8	(116)	+
網代	26.0	(+2.7)	+*	140.0	(53)	-	9	176.0	(129)	+*
名古屋	27.3	(+2.8)	+*	98.5	(43)	-	10	181.3	(114)	+
伊良湖	26.7	(+2.3)	+*	171.5	(71)	-	11	203.8	(121)	+
岐阜	27.3	(+2.8)	+*	150.5	(62)	-	12	179.6	(110)	○
高山	23.3	(+3.3)	+*	67.5	(30)	-*	9	148.2	(113)	+
津	27.0	(+2.6)	+*	109.5	(40)	-	12	192.9	(117)	+
上野	25.8	(+3.0)	+*	51.5	(27)	-*	7	169.8	(120)	+
尾鷲	26.4	(+2.6)	+*	251.0	(34)	-*	10	143.8	(110)	+
四日市	25.8	(+2.6)	+*	132.5	(46)	-	9	165.5	(109)	○
東海地方	----	(+2.6)	+*	-----	(55)	-	--	-----	(118)	+

注) 1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ : 高い (多い)      ○ : 平年並      - : 低い (少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に\*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い (多い)      かなり低い (少ない)

3. 値の横に ) や ] がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができる。] 付きの値（資料不足値）については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

## 4 令和5年（2023年）9月の順位更新表

※ 順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
1	高山	23.3	+3.3	22.1（2007）	1899	20.0
	岐阜	27.3	+2.8	26.7（2019）	1883	24.5
	名古屋	27.3	+2.8	26.7（2019）	1890	24.5
	上野	25.8	+3.0	24.9（2019）	1937	22.8
	津	27.0	+2.6	26.3（2019）	1889	24.4
	伊良湖	26.7	+2.3	26.2（2019）	1947	24.4
	浜松	26.9	+2.0	26.3（2019）	1883	24.9
	御前崎	26.8	+2.4	26.1（2019）	1932	24.4
	静岡	27.2	+2.7	26.3（2019）	1940	24.5
	三島	26.8	+2.8	25.8（2019）	1930	24.0
	尾鷲	26.4	+2.6	25.2（2019）	1939	23.8
	石廊崎	26.3	+2.4	25.5（1999）	1939	23.9
	網代	26.0	+2.7	25.0（1999）	1937	23.3
	四日市	25.8	+2.6	25.2（2019）	1966	23.2

### 参考資料 平年並の範囲（東海地方）

9月	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
上旬	-0.2 ～ +0.6℃	58 ～ 108%	87 ～ 117%
中旬	-0.6 ～ +0.9℃	50 ～ 116%	91 ～ 111%
下旬	-0.4 ～ +0.6℃	56 ～ 122%	89 ～ 108%
月	-0.5 ～ +0.5℃	72 ～ 119%	94 ～ 108%

### 資料の解説

- ・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。
- ・「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めています。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（少ない）」「かなり高い（多い）」と表現します。